



問 とがわ 砥川用水の説明板設置を



飯野小6年
ながた こうすけ
永田洸介 議員

1801年、庄屋の富田茂七は試行錯誤を重ねて砥川用水を完成させました。そのおかげで100畝の田んぼができ、飯野の発展に尽くしたことを学びました。

見学に行ったとき、県道沿いにある記念碑は、初めて来た人にはわかりにくいと思いました。また、説明板の文字が見えないところもあります。そこで、砥川用水がどこを流れているのかを示す案内板をつけて、説明板を新しくしてほしいです。

答 こたへ 地図入りの分かりやすい説明板、案内板を検討

益城町には、女性の地位向上に貢献した矢嶋桐子さんに

漆芸家で人間国宝の増村益城さんなど多くの偉い人が出ています。富田茂七さんもその中の一人で、飯野地区の用水路を整備した人です。整備後は、遠くの田んぼや畑に水をやるのが楽にできるようになり、多くの人が喜びました。富田茂七さんの記念碑は大正14年に、説明板は平成5年に設置されています。説明板をきれいにし、説明文には地図を取り入れ、内容も皆さんに分かるようにしたいと考えています。案内板も含め、文化財を探し出したり、保護したり、看板の説明文を決めたりする益城町文化財保護委員会と相談をしながら検討をしたいと考えています。



- ①町議会さながらの子ども議会の内容に聞き入る傍聴者
- ②自らの質問に対する答弁を、真剣なまなざしで聞き入る子ども議員
- ③はきはきとした口調で日ごろの疑問を尋ねました
- ④子ども議員の質問に、一つ一つわかりやすく答弁します
- ⑤熱気に包まれた議場の様子